

天竜区のクローバー商店街

案内看板刷新 大学生が協力

浜松市天竜区二俣町のクローバー通り商店会の有志が同市中央区の静岡文化芸術大生と協力し、同商店街案内看板のデザイン刷新に取り組んでいる。「初めて訪れる観光客にも天竜二俣の街を楽しんで帰ってほしい」と試行錯誤している。

(天竜支局・松本直樹)

今秋完成「街楽しんで」

看板は幅3メートル、高さ1成の見通し。同商店街1・5メートル。全面を貼り、周辺にある国指定史跡替える計画で、今秋完了の二俣城跡と鳥羽山城



クローバー通り商店街の案内看板の新たなデザインについて話し合う水野さん(左から2人目)と渥美会長(右端)ら＝浜松市天竜区二俣町の天竜商工会

跡など数多くの歴史的建造物や観光施設をイラスト入りで書き込むほか、最寄り駅や公共施設、駐車場も記す。飲食店やカフェ、生活用品店約50軒も掲載する予定。

刷新は、渥美芳弘同商店会長が「古くなつた看板をなんとかしたい」と市中山間地域移住コーディネーターの

土田哲也さんに相談し、土田さんが知り合いの同大デザイン学科4年水野早紀さん(21)を紹介した。

水野さんは「昔ながらの優しさが残る街の雰囲気が出るデザインにしたい。掲載する情報量が多く大変だが自分の知識が役立つならうれしい」と話す。